

「子育てアンケート」結果について

調査実施時期：平成21年11月

調査対象人数：県内公立小学校 3年生保護者 1,389人 6年生保護者 1,485人

調査回収人数：県内公立小学校 3年生保護者 1,267人 6年生保護者 1,378人
(3年生、6年生の児童の保護者の約10%)

調査結果の概要

I 子どもの生活に関すること

3年生と6年生の生活習慣に大きな差異はない

「(どちらかといえば)朝食を毎日食べる」3年生95.9% 6年生94.4%

「(どちらかといえば)毎日同じくらいの時刻に起床をする」3年生96.3% 6年生95.1%

「(どちらかといえば)一人で起床する」3年生46.8% 6年生47.5%

6年生は3年生よりゲームをしたりテレビ等を視聴したりする時間が多い

「平日1日当たり1時間以上テレビゲームやコンピュータゲームをしている」3年生29.8% 6年生34.6%

「平日1日当たり2時間以上テレビやビデオ等を視聴をしている」3年生36.2% 6年生41.3%

6年生は3年生より運動時間が少ない

「平日1日当たり1時間以上体を動かしたりスポーツをしたりする」3年生42.8% 6年生31.3%

「全くスポーツ等をしない」3年生 平日8.0% 休日5.8% 6年生 平日15.5% 休日16.5%

6年生の4人に1人は携帯電話を所有している

「携帯電話所持率」3年生9.6% 6年生26.9%

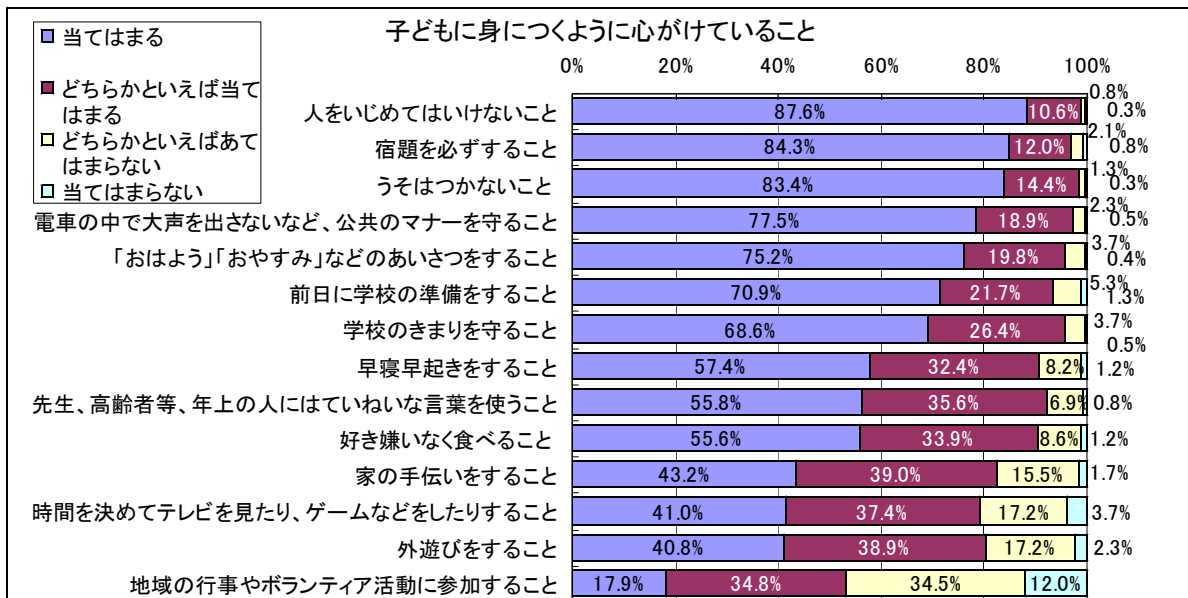
II 子育てに関すること

保護者が子どもと一緒に食べるのは朝食より夕食が多い

「(どちらかといえば)朝食と一緒に食べる」保護者61.1%

「(どちらかといえば)夕食と一緒に食べる」保護者93.9%

規範意識に関してはきっちり、生活習慣に関してはゆるい傾向が見られる



「人をいじめてはいけないこと」(87.6%)、「うそはつかないこと」(83.4%)が身につくように心がけている割合は高い。

「家の手伝いをすること」(43.2%)、「時間を決めてテレビを見たり、ゲームなどをする」(41.0%)、「外遊びをすること」(40.8%)が身につくように心がけている割合は低い。

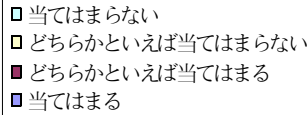
「地域の行事やボランティア活動に参加すること」(17.9%)は特に低い。

保護者の4人に1人が、授業参観中に私語

「(どちらかといえば)授業参観中に保護者同士で私語をする」27.1%

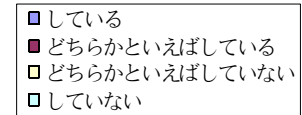
保護者が心がけている状況が子どもの生活習慣に反映している

保護者が心がけていること

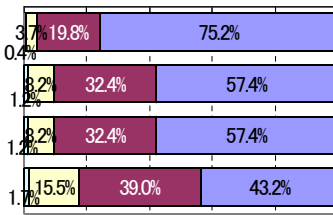


保護者が心がけていることと
子どもの生活習慣

子どもの生活習慣

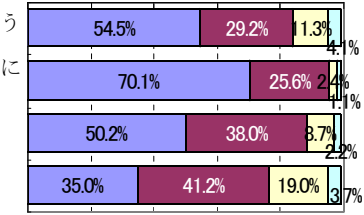


100% 80% 60% 40% 20% 0%



- あいさつをする
- 早寝早起きをする
- お手伝いをする
- 自分からあいさつを言う
- 毎日同じくらいの時刻に起床をする
- 就寝をする
- お手伝いをする

0% 20% 40% 60% 80% 100%



あいさつについて

保護者の95.0%が心がけていて、子どもの83.7%が行っている。

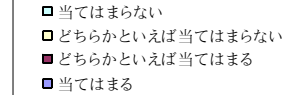
早寝早起きについて

保護者の89.8%が心がけていて、子どもの95.7%が同じくらいの時刻に起床し、88.2%が同じくらいの時刻に就寝している。

お手伝いについて

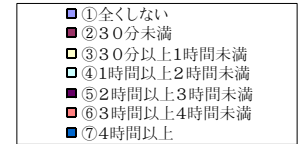
保護者の82.2%が心がけていて、子どもの76.2%が行っている。

保護者が心がけていること

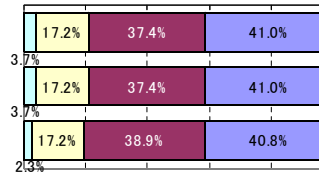


保護者が心がけていることと
子どもの家庭での過ごし方

子どもの家庭での過ごし方

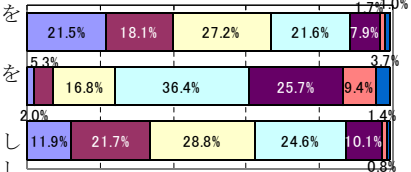


100% 80% 60% 40% 20% 0%



- 時間を決めてゲーム等をする
- 時間を決めてテレビ等を見る
- 外遊びをする
- 平日のゲーム等をする時間
- 平日にテレビ等を見る時間
- 平日に体を動かしたりスポーツをしたりする時間

0% 20% 40% 60% 80% 100%



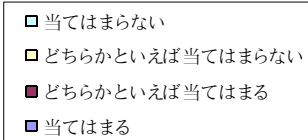
時間の使い方について

保護者の78.4%が心がけていて、ゲームをする時間が1時間未満の子どもは66.8%、テレビを見る時間が1時間未満の子どもは24.1%である。

外遊びについて

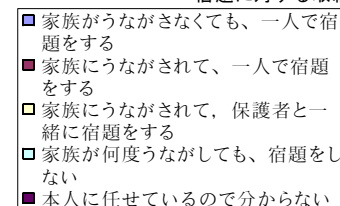
保護者の79.7%が心がけていて、スポーツ等を1時間以上する子どもは36.9%である。

保護者が心がけていること

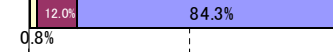


保護者が心がけていることと
宿題に対する取組方

宿題に対する取組方

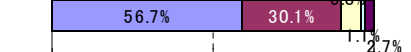


100% 50% 0%



- 宿題を必ずすること
- 学校の宿題に対する取組方

0% 50% 100%



宿題について

保護者の96.3%が心がけていて、子どもの56.7%が家族がうながさなくても一人で宿題をしている。

Ⅲ 学校に関すること

授業参観等に参加している保護者は多い

「(どちらかといえば)子どもが持ち帰ったプリントを読む」97.1%
「(どちらかといえば)授業参観等に参加」している保護者は93.9%

学校で身につけさせてほしいことは「思いやりの心」「基礎的な学力」「マナーやルール」

「思いやりの心」78.2% 「教科の基礎的な学力」77.9% 「社会のマナーやルール」74.6%
「表現力・コミュニケーション能力」63.0% 「運動能力・体力」47.5% 「人権意識」41.7%

保護者の望む学校は落ち着いた雰囲気での学習できる学校

「児童が、落ち着いた雰囲気での学習できる学校」79.9%
「保護者が気軽に質問したり相談したりできる学校」58.9%

Ⅳ 地域に関すること

県東部山間地域の保護者は地域の活動への参加率が高い

「地域のイベントや地域の活動に参加している」東部山間(地域2)92.3% 全体78.7%
「子ども会活動、PTA活動に参加している」東部山間(地域2)92.3% 全体78.1%

近所の子どもに挨拶をしたりほめたりする保護者は多い

「道であったとき『おはよう、おかえり』等の声をかける」91.8%
「良いことをしたら、ほめる」89.3%

Ⅴ 奈良県の教育に関すること

奈良県の教育情報を知らない保護者が多い

「体力が全国平均を下回っていることを(少し)知っている」57.0%
「規範意識や社会性に課題があることを(少し)知っている」24.5%

保護者の情報入手手段で最も多いものは「学校から配布されたチラシ」

「学校から配布されたチラシ」65.3% 「新聞」44.9%

調査結果より

- 3年生より6年生の方が、テレビを見たりゲームをしたりする時間が長く、外遊びの時間が短くなる傾向がある。生活リズムが定着するよう、低学年から家庭での過ごし方について家庭と学校が連携して取り組む必要がある。来年度から実施予定の「見直そう！家庭と学校協働プロジェクト」事業でも、この調査結果を生かしていきたい。
- 保護者が心がけている状況が子どもの生活習慣に反映している。現在取り組んでいる「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動などの取組をさらに充実させる必要がある。
- 保護者は、「思いやりの心」や「教科の基礎的な学力」、「社会のマナーやルール」などを学校で身に付けてほしいと望んでいる。こうしたニーズに応えるためにも、現在取り組んでいる規範意識の向上など豊かな人間性の育成や、くり返し指導などによる確かな学力の育成等に向けた取組をさらに充実させたい。
- 「落ち着いた雰囲気での学習できる学校」「気軽に質問したり相談したりできる学校」を望んでいる保護者が多く、子どもたちの学習環境や保護者とのコミュニケーションを重視した開かれた学校づくりをより一層推進する必要がある。
- 学習意欲や体力、規範意識など奈良県の子どもたちの教育課題を知らない保護者が多い。また、主な情報の入手方法は、学校から配布されるチラシや新聞である。教育委員会・学校・家庭・地域が連携して教育課題の解決に取り組めるよう、よりアピール性の高いチラシや学校便り(学校からのお知らせ)の作成・配布など、学校を通じた啓発を活性化するような情報発信に努める必要がある。